

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新第1工場	階数	地上2F
建設地	京都府乙訓郡大山崎町小泉1番地	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条地域	平均居住人員	120 人
気候区分		年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年6月 予定	評価の実施日	2012年12月1日
敷地面積	70.841 m ²	作成者	(株)大林組
建築面積	4.960 m ²	確認日	
延床面積	9.078 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 66%
 ③上記+②以外の 76%
 ④上記+ 76%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 環境保護を目的に、工事中の二酸化炭素排出量の削減に努め断熱性能の高い工場を実現します。		その他 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 断熱サンドイッチパネルと複層ガラスの採用により外皮性能の向上。	Q2 サービス性能 階高、荷重のゆとり及び空間形状の自由さ。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地周辺に緑地を配置。
LR1 エネルギー 太陽光発電設備の設置。LED照明の採用。	LR2 資源・マテリアル リサイクル資材の採用やノンフロン断熱材の採用。	LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される